



12月定例議会・一般質問の概要

市政のここが聞きたい!

一般質問

12月定例議会では、12月8日・9日・10日の3日間にわたり、15名の議員がそれぞれの視点・観点から一般質問を行いました。掲載している各議員の記事は、質問者自らが作成したものです。

発言順	議員名	質問事項
1	山 縣 喜 義	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の再開について ・市長の政治姿勢について
2	長 江 和 幸	<ul style="list-style-type: none"> ・成羽病院について ・国際姉妹都市等外国交流体験事業について ・逆上がり補助台設置について ・行政放送を活用して教育番組を企画してはどうか ・教職員のレクリエーション（球技大会）研修会を開催してはどうか ・体育館建設について ・部活動の遠征費補助について ・小・中学生の通学路について
3	難 波 英 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業と地域経済を守る市政について ・鳥獣被害防止対策の抜本的強化について ・市道管理について ・地上デジタル化対策について
4	小 林 重 樹	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり法に基づく高梁市歴史的風致維持向上計画について ・明治飼糧の土地について
5	川 上 博 司	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策のさらなる充実を目指して ・大学との連携で自治体シンクタンクを ・「自治体クラウド」の推進について
6	宮 田 公 人	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を展望した保育園・幼稚園・小学校・中学校の適正配置について ・図書館行政について ・健康増進活動と知識の啓蒙活動について ・子育て世代に対する育児、医療知識の理解向上に向けた取り組みについて ・人口減少と定住対策について
7	三 上 孝 子	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の政治姿勢を問う ・行財政改革の方向について ・教育環境の改善について ・子どもたちに豊かな保育・子育てを ・新庁舎等建設について
8	大 森 一 生	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの「公」、「新しい公共性」とは何か、今「公」に何が求められているのか ・スポーツ振興と地域活性化について ・高梁中央図書館について
9	倉 野 嗣 雄	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の災害対策について ・市が委嘱する調査員及び立会人の選任方法について
10	植 田 二 郎	<ul style="list-style-type: none"> ・プールの消毒剤について ・子育て支援対策について ・公共交通のあり方について
11	宮 田 好 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処分場について ・市道認定について
12	田 中 広 二	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統廃合を問う ・健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」を問う ・駅及び駅周辺の整備構想を問う
13	細 川 繁 信	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会における一人暮らしの所在確認の対応について ・福祉施設の充実を問う
14	森 田 伸 一	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり法と備中高梁元気プロジェクト事業について ・農地荒廃防止と獣害対策について
15	柳 井 正 昭	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の市政方針について ・歴史的風致維持向上計画について

「ゆ・ら・ら」再開について 市長の政治姿勢について

山縣 喜義 議員

「ゆ・ら・ら」再開について

●山縣 総事業費について問う。(平成12年11月11日から今日まで)

◆産業経済部長 総額36億900万円で補助金は入っておらず地域総合整備事業債25億3100万円と一般財源である。

●山縣 温泉の湯を使用しているのならそれでも健康増進になるのでは。

◆市長 温浴施設だけでも健康増進だが、プール、トレーニングルームも利用する健康増進施設として使用したい。

●山縣 スポーツ公園のスポーツ交流人口が多く、合宿施設として神原荘だけでは手狭ではないか。プール、トレーニングルームを

使つての合宿施設はでないか。

◆市長 スポーツ交流の受け入れ(21年度で約31万人が利用)は必要で神原荘、成羽の宿泊施設だけでは十分と言えず、総合的に考えて対応したい。

●山縣 指定管理者の選定についてはどのようになっているのか。

◆市長 民間事業者からの問い合わせがあるが、調査検討して最終的には私の方で判断させてもらう。

市長の政治姿勢について

●山縣 市長は49歳の若さで職員から市長になったが、外様に対して譜代大名との認識があるか。

◆市長 外様とか譜代という気はない。高梁

市を変えようとの気持ちで市長になった。

●山縣 トップダウンかボトムアップのどちらを手法とするか。

◆市長 トップダウンが必要な時もあるが、その中で情報の共有が大切だと考えている。またボトムアップにより判断することも必要だ。今後さび分けを明確にしながら進めていきたい。

●山縣 管理職登用に ついて、年功序列に変えて立候補制を導入しては。

◆市長 公務員制度での年功序列は高梁市も例外ではない。職員個々の能力を引き出すことが必要で、職員が強い意志を持つことで適材適所での働きが必要。民間への人材派遣を通してその厳しき、違いもわかるので、手法としての提案として参考にさせていただきたい。

成羽病院について 行政放送を活用して教育番組を

長江 和幸 議員

成羽病院について

●長江 平成23年度から公営企業法を全部適用する予定となっている中で、救急医療に関する今後の応分の責任と負担について問う。

◆病院事務長 一般会計から病院会計への必要な経費の繰り出しは認められている。今後もし一定のルールに従って必要な費用負担は行う。

●長江 看護師の資質向上を図る上での研修について問う。

◆病院事務長 今後、各種研修に参加させ資質向上に努める。

行政放送の活用について

●長江 行政放送を活用して教育番組を企画してはどうか。

経済格差が教育格差

後自転車歩道整備を進めていくとのことである。

●長江 自転車通学生に点検整備TSMマークを義務つけているか。

◆教育長 安全点検については教師、生徒会でやっている。義務とはしていないが安全性の高い通学用自転車を推奨しており、通学生のほとんどがTSMマークのついた自転車を使用している。

神原スポーツ公園に体育館建設を

●長江 現在の高梁市民体育館は、築30年経過し十分な駐車スペースもない。Vプレミアリーグなど大きな大会は収容人数を決められており、障害者も健康者も共に観戦できる体育館建設を求める。

◆教育次長 神原スポーツ公園の場合、開発許可や環境アセスメント、財政面の課題があり、現時点では厳しい状況と考えている。

TPP参加に反対を 鳥獣被害防止対策の強化を

難波 英夫 議員

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加に反対を

●難波 日本がTPPに参加した場合、例外なく関税が撤廃され、日本の農林水産物等への影響は、食料自給率で現在の40%から13%に低下、国民総生産は8兆4千億円の減少、雇用については350万人減少すると発表されている。そこで本市への影響について問う。

◆産業経済部長 農家では離農による耕作放棄地が増え、過疎化が一層進むなど様々な影響を受けることが懸念される。

●難波 TPP参加を要求しているのは、輸出入大企業や農畜産物輸出国のアメリカやオーストラリアで、国民で

はありません。国に参加をやめるよう求めること。

◆産業経済部長 全国市長会を通じて国に慎重な対応をするよう求めている。

●難波 本市としてもTPPに反対する行動を起こしてはいいかがか。

◆産業経済部長 今後の動向によっては、びほく農協などと連携して行動する。

農家への減収対策を

●難波 本年の異常気象による米、桃、梨、葉たばこの減収で農家の再生産意欲が減退している。緊急無利子融資など支援策を求める。

◆産業経済部長 県の経営資金制度がある。しかし、減収に対する支援はない。

●難波 米（ヒノヒカ

リ）の品質低下による減収を、農業共済の補償対象にするよう求める。



◆産業経済部長 県の共済連では、特に被害が大きい倉敷、井笠地域は対象になるが、本市は対象外である。

●難波 米価の下支えのため、米の輸入をやめ、備蓄米40万トンを直ちに買い上げるよう政府に求める。

◆産業経済部長 政府の対応を見て要望したい。

鳥獣被害防止対策の抜本的強化を

●難波 国に対して鳥獣被害防止対策の強化を求める。

◆産業経済部長 関係機関を通じての増額要望を行いたい。

歴史まちづくり法に基づく 高梁市歴史的風致維持向上計画について

小林 重樹 議員

歴史まちづくり法について

●小林 平成20年11月に「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」が施行されたのを契機に、「高梁市歴史的風致維持向上計画」を策定し、平成22年11月22日に関係3省（国交、文科、農水省）に認定された。これは岡山県では津山市に次いで2番目である。この計画は市の中心部や成羽町吹屋地区の歴史的町並み

み景観形成ゾーンの区域。吹屋地区の重点区域は、高梁市吹屋重要伝統的建造物群保存地区と、その周辺区域で、面積は210ヘクタールである。

●小林 これらの地域における最大の事業は何になるのか。

整備等、10年間で24の事業を行い、国からは交付金の上乗せ等の支援が強化されることになっている。

◆市長 高梁の重点区域は備中松山城から登城道を経て、御根小屋跡までと高梁城下町旧町割区域、高梁景観モデル地区、歴史的町並み景観形成ゾーンの区域。吹屋地区の重点区域は、高梁市吹屋重要伝統的建造物群保存地区と、その周辺区域で、面積は210ヘクタールである。

●小林 これらの地域における最大の事業は何になるのか。

◆市長 重点事業としては本町筋、紺屋川美観地区の無電柱化や吹屋景観事業、松山城跡保存修理事業などである。



渡り拍子(花笠:鋤崎八幡神社)

●小林 民俗文化財である備中神楽、渡り拍子や備中松山踊り等の保存伝承事業はどのように取り組んでいくのか。

◆総務部長 民俗文化財である備中神楽、渡り拍子は地域から生まれた特有の文化であり、郷土の誇りである。しかし、近年後継者不足や保存会、育成会の活動費の不足等で活動の継続が困難な状態となっている。これらの団体に対して補助金を支出し、その活動を支援することとしている。

●小林 これらの地域における最大の事業は何になるのか。

鳥獣被害対策の充実を目指して

川上 博司 議員

鳥獣被害対策の充実を目指して！

●川上 昨年の10月7日に、岐阜県本巣市のモンキードッグ事業を視察してきました。本巣市では、平成19年度より、サルによる農作物被害を軽減するため、サルを追い払う犬、モンキードッグを育成し取り組んでいます。モンキードッグ事業は、サルによる農作物被害に困っている方の飼い犬を訓練し、訓練終了後は、飼い主のもとでパトロール、追い払いなどモンキードッグとして活動するものです。本市においても、サルによる農作物被害を軽減するため、国の鳥獣被害緊急総合対策のソフト事業を活用して、モンキードッグ事業に



活躍するモンキードッグ

取り組んでいくべきではないかと思いますが、どのように対応されるのか。

◆産業経済部長 モンキードッグ事業については過去に徳島県三好市を視察したことがあり、訓練期間が半年以上かかることや訓練所が遠くにあることなどから、今のところ難しいと考えるが、関係機関と連携を取りながら検討させていただきたい。

大学と連携して自治体シンクタンク設置を！

●川上 昨年視察した

滋賀県草津市では、立命館大学草津キャンパスなどとの連携で、自治体シンクタンクとなる「草津未来研究所」を開設しております。時代の変化に対応し、中長期的な視点から市の今後のあり方や地域の経営を見据えた政策の調査・研究、提言を行うものです。大学の持つポテンシャルを最大限に生かし、「地方政府としての高梁市」を目指すため、大学と連携して自治体シンクタンクを設置すべきではないか。

◆市長 大学と市と地域等のあり方について協議をする有識者による懇話会をつくる予定である。そこで議論をしていただき、提言をしていただくならば今後、市と大学との連携についての新たな取り組みを考えていきたい。

将来の教育環境をどう考えるか 学びと知識の広場、図書館の現状は 健康管理は自分の手で

宮田 公人 議員

●宮田 児童・生徒が激減する中で、将来の保育園・幼稚園・小学校・中学校の適正配置について、どのような準備と研究を行っているのか。

◆教育長 教育委員会としては統合、再編の方針を表明し、随時取り組んでいる。幼稚園については、今年度中に就学前教育・保育指針を策定する。

●宮田 教育ニーズ把握のため住民アンケートを行っているのか。

◆教育長 現時点でアンケートをとることは考えていない。

●宮田 読書環境の改善という観点から、老朽化した図書館内の読書テーブルや椅子、書架の一部だけでも更新できないか。

◆教育次長 テーブル、椅子等については総合的、計画的に更新をしていきたい。

●宮田 図書館スタッフは適正人員なのか。

◆教育次長 業務内容とあわせて人員配置についても今後検討していく。

●宮田 図書館ボランティアの活動・育成はどうなっているか。

◆教育次長 中央図書館において毎月ストーリーテリング講座を開催している。また年2回、読み聞かせ等に関する講演会を開催している。

●宮田 健康づくり課が主体で取り組んでいる『我が家ではつらつチャレンジ60』事業についてどのような効果が期待できるか。

◆市民生活部長 個人の環境に合わせて、自宅で自分のペースで健康づくりを進めることを目的としている。また実行委員会形式で取り組んでおり、地域に密着した健康づくりを進め、市民の知識習得と実践体験により適正な生活改善を行っている。ただきたい。

●宮田 山陽新聞社会事業団主催の子育てセミナーを、国立病院機構岡山医療センター名誉院長、青山興司先生を講師として開催してはどうか。

◆市民生活部長 平成23年度の開催に向け検討いただいている。



昔と変わらぬ中央図書館カウンターからの眺め

公の責任で子どもたちに豊かな保育・教育環境を

三上 孝子 議員

教育環境の改善について

●三上 記録的な猛暑が続いたこの夏、8月、9月の高梁市の最高気温はいずれも37・2度を記録しています。

学校現場では、子どもたちに「水分補給をしっかりすること」、「休憩をしっかりとること」を徹底し、熱中症対策に取り組んだと伺っています。

今、ほとんどの家庭、公共施設、高校、大学では空調設備が整っています。保育園、幼稚園の保育室と小学校、中学校の普通教室にクーラーの設置を求めます。

◆教育次長 現在使用している保育園は比較的涼しい環境にある一園を除き設置していま

す。幼稚園については職員室と保育室等の1つ以上の部屋に設置しているが、今後、各保育室にクーラーを設置していきます。

小、中学校は、職員室、校長室、保健室、パソコン教室、図書室等に設置しているが、未設置の学校もあり、計画的に設置していきます。なお、普通教室については、今後の状況を見ながら検討したい。学習に専念できる教育環境が必要と考えています。

子どもたちに豊かな保育、子育てを

●三上 国は現在の幼稚園と保育園を一本化して「こども園」とし国や市町村が責任を持って行っていた保育制度を根本からくつが

えそうとしています。

本市における幼稚園、保育園の一本化の検討はされているのですか。

◆市民生活部長 市役所内部で検討委員会を発足させています。「認定こども園」という考え方も何か所か考えられ、地域の実情に応じた保育が必要だと思います。

●三上 現行の公的保育制度を生かし、国と自治体が責任を果たしてこそ利用者の望む保育が保障されると思いますが、どうですか。

◆市民生活部長 国自治体の責任において行われなければならないと思います。



これからの「公」「新しい公共性」とは何か、今「公」に何が求められているのか？

大森 一生 議員

職員の人材育成とモチベーションの維持とインセンティブの付与について

●大森 副市長の突然の退任の庁内への影響は。また今後の選任の状況は。

◆市長 職員の動揺はあったと思うが、行政の停滞といったことはない。後任については適切な時期に提案する。

●大森 いろいろな問題が山積する中、職員モチベーションの維持とインセンティブの付与についてどのようなか。

◆総務部長 職員とのコミュニケーションを図りながら、人事考課制度を確立し、職員のモチベーションの維持に努めたいが、実質的なインセンティブの付

与は考えていない。

●大森 大学院などの学位(修士、博士)の取得を公費で負担することができないか。

◆総務部長 旧高梁市の時に大学、大学院の希望を募集したがゼロだった。人材育成の観点、職員の質を高めていくといった観点からはとても重要なことである。今後研究していく。

吉備国際大学女子サッカー部のチャレンジリーグ参入について

●大森 新聞に、「市民を巻き込み、選手が頑張れる環境づくりを進めていく」と市長のコメントが報道されているが、どのようなことを言っているのか。

◆総務部長 本市にとって大きな慶事であ

り、経済効果も期待しているが、市民・民間のイニシアティブが大前提で、その中で、他のチャレンジリーグのチームの状況を参考に何ができるのか検討したい。

●大森 なでしこ、チャレンジリーグのチームを視察に行ったが、本市より大きな都市でも行政の支援がなければどこのチームも運営は厳しい。今後、地域密着型の球団としてやっていく中で、経済効果とは別に数値では表せない効果、メリットが考えられる。また、チーム名もFC高梁吉備国際大学で高梁の冠がつく。全国に高梁市を情報発信できる。市民に愛されるチームにしたということ、チームの愛称も市民公募を予定している。本市の活性化につながるよう検討をよろしく願いたい。

農業用施設の被害対策について

倉野 嗣雄 議員

農業用施設の被害対策について

●倉野 昭和40年代より高度経済成長の中で高梁市でも道路や水道、また、圃場整備などの工事中に雨や災害対策によって河川へ土砂が流出し堆積土となっている。7月のゲリラ豪雨のような雨が降ると農地や水路などに大きな被害が発生する。河川の浚渫を随時してい



土砂の堆積した河川(有漢町内)

く必要はないか。

◆産業経済部長 普通河川や砂防河川については県と市の管理である。毎年の調査はできていないが、要望箇所については本庁と地域局で把握している。緊急性により順番に行っているが十分とは考えていない。

●倉野 県が実施しているアダプト事業の高梁市版はできないか。

◆産業経済部長 今すぐということではできないが今後研究したい。

●倉野 予算について県の森林税などが活用できないか。

◆産業経済部長 県に對して適用となるか問い合わせてみる。また、浚渫土の処理場所がないか情報を提供してほしい。

市が委嘱する調査員の選任方法について

●倉野 毎回同じような人が選任、委嘱されているように思うが、どのような基準で選任されているのか。

◆総務部長 国勢調査については調査を遂行する能力や秘密の保持などを基準としている。今回から公募によって行っているが、初年度であり十分とは言えない。

●倉野 不況で経済的に苦しい人も多い。金額を告げての公募はできないか。また、一人でも多くの市民が参加できる方法は考えられないか。

◆総務部長 報酬については、それぞれの地区や面積、対象戸数、人数などの基準に基づいて算定しており一律ではない。今後の公募については十分周知期間をとり、公募の意図を御理解をいただき、周知に努めたいと考えている。

プールの消毒剤について

植田 二郎 議員

プールの消毒剤について

●植田 プールの消毒剤は塩素が使用されているが、中でも無機系の塩素が有機系よりも比較的安全と言われている。市内すべてのプールで無機系塩素に統一するべきではないか。

◆市長 今後、学校のプール・市民プールすべてを有機系よりも安全と言われている無機系塩素に統一したい。

子育て対策について

●植田 ファミリーサポート事業は保育施設の保育時間、児童クラブ時間以外の時間に子どもを預かることとなっているが、高梁市の現状を問う。

◆市民生活部長 現在会員数は47名、依頼件数は10月までで35件となっており、子ども課

で対応している。

●植田 会員が少数である原因はこの制度が市民に浸透していないと思われる。保護者にもっと制度の紹介と入会要請をするべきではないか。

◆市民生活部長 今後、子ども課と教育委員会が協力・連携し積極的に取り組む。

●植田 子育て支援センター事業が開設されようとしているのか。

◆市民生活部長 毎週月曜日から金曜日まで開設しており、本年7月から現在まで2075名の利用をいただき大変好評である。今後の利用状況、推移を見ながら対応していきたい。

公共交通のあり方について

●植田 有漢ふれあいタクシーは過疎化が進む高梁市においては究極の公共交通の方式と考える。利用実績が低

調だと聞いているが住民への周知徹底ができていない。利用しやすくするためにはダイヤ等の見直しが必要ではないか。今後、高梁市の交通は私企業では限界がある。従って行政

が企画主体となり、運行は既存の企業に委ねていく方式が最良と思われる。また、公共交通の役割は「元氣老人の移動手段」としての価値があり、高齢者の健康促進につながる

とも言われている。福祉医療バスといった視点を念頭に持ちながら公共交通に行政自ら取り組みべきではないか。

◆市長 市内全域の公共交通については再検討する。

吉備中央町大村地区に計画された安定型産廃処分場に反対を!

宮田 好夫 議員

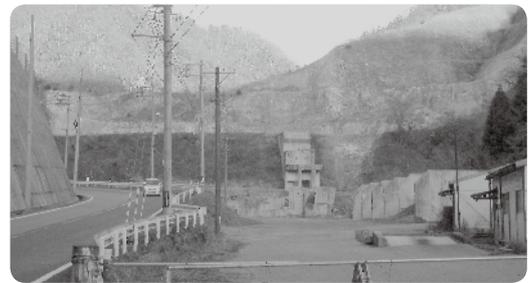
吉備中央町大村地区に計画された安定型産廃処分場に反対を!

●宮田 この処分場を計画している民間業者は平成21年7月、県に事業概要書を提出、環境アセス調査などを経て、平成22年10月には事前計画書を県に持ち込んで

いる。この処分場計画地のすぐ横には佐与谷川が

あり、有漢川へと注ぐ水はこの地域の営農や簡易水道に利用されている。

浸透水の浄化設備を持たないこの処分場に、もし有害な物質が混入したなら、その被害は甚大で、「守る会」は県に反対署名の提出、反対看板の設置、吉備中央町へ要望書の提出、住民学習会の開催など



処分場建設予定地

反対運動を行っている。

一昨年の6月議会でも質問したが、新たな局面を向かえた今、市としての考え方を再度聞きたい。

◆市長 この産廃処分場予定地は、地域の営農や生活を支える重要な水資源の横に位置していることから、市としても建設に反対の立場である。

また、県に対しては当然ながら高梁川流域の総社市や建設予定地の吉備中央町など関係する自治体へも働きかけを行う。

小学校の統廃合について健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について駅及び駅周辺の整備構想について

田中 広二 議員

小学校の統廃合を問う

●田中 市内には過小規模校が7校あるが、吹屋、布寄小学校の統合について、学区及び地区住民の理解と認識を問う。

◆教育長 今まで数回の会議を開催し、一定の理解と地元協議会の中で統合に向けた通学手段等の話し合いは進んでいる。

●田中 学校跡地の活用については市長部局の担当だが、吹屋小学校は県重要文化財の指定であるが、国の重要文化財指定に向けた手続きの進捗状況はどうか。布寄小学校の講堂は、地域の集会所として利用されており集会所の建築要望があるが認識を問う。

◆教育長 「協議会」

あるが指定管理者の応募の中で提案を受けてより良い運営に努めたい。高梁駅及び駅周辺の整備構想を問う

●田中 駅バリアフリー化は、高齢者、障害者からの要望もあり懸案事項だ。本来、鉄道事業者の責任で行われるべきという意見もあるが、バリアフリー新法は、国、県、自治体、鉄道事業者に負担割合を求めている。駅前鉄道用地の買い取り計画と駅舎の扱いを問う。

「布寄を考える会」からの要望を受け検討したい。

●田中 複式から単式学級への統合であり慎重な対応をお願いする。健康増進施設「ゆ・ら・ら」について

◆産業経済部長 現在4社の問い合わせがあり、提案を受け指定管理者を選定したい。

●田中 指定管理者選定は二次にわたり不調となった。今後、神原スポーツ公園等との連携した施設管理を考えると、所管の枠を越えた体制づくりが必要ではないか。

◆市長 施設の所管は

歴史的風致維持向上計画について 農地・農家を守るため市独自の施策を求める

森田 伸一 議員

認定区域内での駐車場設置は可能か？

●森田 本年11月22日に国土交通省において、

歴史まちづくり法に基づく「高梁市の歴史的風致維持向上計画」が全国で17番目に認定された。昨年の通告質問で「検討する」となっていた武家屋敷周辺民地への駐車場の設置及び紺屋川通りの桜並木更新は事業として実施可能か。

◆市長 計画の中で歴史的価値がある事業として整備できるもの、「基幹事業」と関連ある事業として実施する事業がある。駐車場については、関連ある事業として町並みとあわせ整備していきたい。

◆総務部長 桜並木の更新については、歴史

的価値を上げる事業である電柱の地中化、道路の美装化とあわせ実施していきたい。

●森田 民俗芸能伝承活動に対する団体の支援について、国の支援は受けられるのか。

◆総務部長 現在も神楽、渡り拍子に対し、保存団体、指定団体に金銭的助成を行っている。松山踊りについては、観光協会へ他の観光施策とあわせ助成している。今回認定されたことによりソフト事業として衣装等の備品に助成が可能となると考えている。

●森田 市独自の景観計画策定にあたり関係地域・住民への周知手法はどのように考えているのか。

◆市長 景観計画策定

に当たっては、そこに住んでおられる方の合意が一番である。計画の趣旨を町内会単位、広い意味でのタウンミーティングという形で説明させていただき、十分ご理解をいただきたい上で進めていきたい。農地荒廃対策と獣害対策について

●森田 国の農業政策（中山間地域直接支払制度、戸別所得補償制度等）では営農環境の劣悪な中山間地域での農家、農地を守ることは難しい。早急に市独自の対策を講ずる必要があると考える。

◆産業経済部長 提案いただいた農業施策、また獣害対策については、既存の国県事業を活用する。あわせて農産物規格外品（獣肉も含む）の加工については、生活交流グループ等との連携の中で、農産加工品のブランド化促進も含め今後検討していきたい。

市長の市政方針について

柳井 正昭 議員

●柳井 市長は「人・まち・自然を大切にす

る高梁の創造」を進めるうえで3つの理念と3つの戦略を持って、その実現に努力するとおっしゃり、これまで自分の施策のプロセス、タイムスケジュールを設定しながら市政の展開をされてきた。前半2年間の実績と反省について、現時点でどのように自己評価されているのか。また、今後2年間の市政運営方針を問う。

◆市長 4年間の折り返し地点であり、マラソンに例えるなら、中間点の折り返しだと思ふ。スタート前から沿道の皆さんの非常に大きな支援をいただき、道中においても本当に大きな声援をいただき

てハーフを走ってきた

などという気がしている。「変えよう高梁、頑張ろう高梁」ということで3つの提言をさせていただいた。それらについて実現可能なものはなかったと思う。一つ一つ実現させていこうと考えている。確かに実施に移せていないもの、時間がかかるものもある。従って成果が現れていないものもある。その中で半分以上のものである。今ここで申し上げることは控えたい。

特に雇用の確保と定住が課題だと考えている。成羽工業団地に企業誘致が実現すれば雇用の確保につながると思う。

また、吉備国際大学との連携による保健・医療・福祉、あるいは、成羽病院を核とした地域ケアを充実させる支援施策により、住みよい町づくりに取り組み、それを定住につなげていきたい。

農林業では、野菜、果物についてトップセールスをしていきたい。その生産団地づくりの整備に取り組む。

林業については、針葉樹から広葉樹に変える取り組みについて県と協議を進める。

評価ということについては、まだ任期途中でもあるので4年たった段階で市民の皆様から評価されることになると思うので、今ここで申し上げることは控えさせていただきます。

マラソンのハーフでいただいた力というものを、さらに後半に持ち込み、つなげていくことで、この4年間というものをつくり上げていきたい。